

感染性膵壊死に対する開腹壊死組織除去手術のため 受診中あるいは受診経験のある患者さんまたはご家族の方へ

臨床研究に対するご協力をお願い

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】 感染性膵壊死に対するサルベージ治療としての open necrosectomy の適応と意義

【研究の目的】

当院での感染性膵壊死に対する開腹壊死組織除去手術の成績を後方視的に検討し、現在の開腹手術の適応と意義について考察する。

【対象となる方】

2010年から2020年に感染性膵壊死に対し開腹壊死組織除去手術を受けられた方。

【使用する検体・診療情報】

検体

カルテ情報： 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査など)

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院

消化器外科 藤井 正彦

【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院

消化器外科 藤井 正彦

電話 089-947-1111